



令和4年(2022年)第8週 2022年2月21日(月)~2022年2月27日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



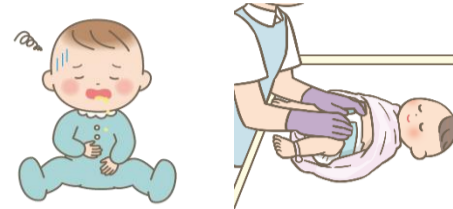
今週は感染性胃腸炎が少し増えています。年齢は0~4歳が70%を占めています。感染性胃腸炎は、嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、原因はウイルス感染（ロタウイルス、ノロウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなど）によるものや細菌性によるものがあります。

●ロタウイルス感染症について

ロタウイルスによって引き起こされる急性の胃腸炎です。感染力が強く、ごくわずかなウイルス（10~100個くらい）が体内に入るだけで感染してしまいます。ふつう、5歳までにはほぼすべての子どもがロタウイルスに感染するといわれています。大人はロタウイルスの感染を何度も経験しているため、ほとんどの場合、症状が出ません。

◆どんな病気？

- 症状……水のような下痢や嘔吐（おうと）が繰り返し起こります。その後、重い脱水症状が数日間続くことがあります。発熱や腹部の不快感などもよくみられます。
- 潜伏期間…2~4日
- 感染経路…患者の便や便を処理した手を介して口から入ることで感染します。
- 流行期……3月~5月



◆かかったらどうすればいいの？

脱水症状がひどくなると点滴が必要となったり、入院が必要になることがあります。5歳までの急性胃腸炎の入院患者のうち、40~50%前後はロタウイルスが原因です。合併症として、けいれん、肝機能異常、急性腎不全、脳症、心筋炎などが起こることがあり、死に至る場合もあります。意識の低下やけいれん等の症状が見られたら、速やかに、近くの医療機関を受診しましょう。現在、ロタウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。このため、脱水を防ぐための水分補給や体力を消耗したりしないように栄養を補給することなどが治療の中心になります。脱水症状がひどい場合には医療機関で点滴を行うなどの治療が必要になります。下痢止め薬（止しゃ薬）は、病気の回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましいでしょう。

◆予防法は？

オムツの適切な処理、手洗いの徹底、汚染された衣類等の次亜塩素酸消毒などによる処置が感染拡大防止の基本となりますが、感染力が非常に強いので、感染を完全に予防することは困難です。日本では、2種類のロタウイルスのワクチンが承認されていて、令和2年（2020年）10月1日から定期接種になりました。対象者はいずれのワクチンも乳児であり、詳細については、医療機関にご相談ください。

期 間		2022年 7週		2022年 8週	
		2/14~2/20		2/21~2/27(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	12	0.75	8	0.50
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	0	0.00	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	1	0.06	1	0.06
感染性胃腸炎	➡	47	2.94	60	3.75
水痘(みずぼうそう)	➡	2	0.13	2	0.13
手足口病	➡	1	0.06	0	0.00
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	9	0.56	6	0.38
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	0	0.00	1	0.20
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00